

外国特許トピックス

2019年3月
特許業務法人志賀国際特許事務所
(外国事務部 加藤基志)

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
外国特許出願に関し、最近のトピックス等をお知らせいたします。

PCT — 2018年のPCT出願件数統計

2018年におけるPCT出願件数の暫定統計がWIPOより公表されましたので、今回はPCT出願件数の概況について紹介いたします。

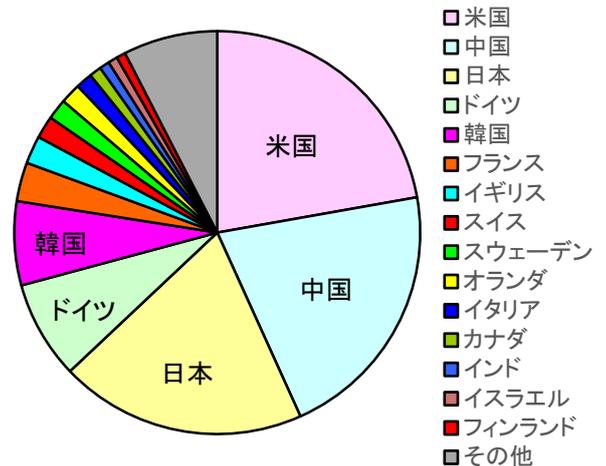
また、日本国特許庁は、2019年4月1日以降に受理する日本語での国際出願において、国際出願に係る手数料の新たな軽減制度及び交付金制度を開始します。本制度については、別紙の「国際出願に係る手数料の軽減措置の申請手続並びに促進交付金の交付申請手続のご案内」で詳しく紹介いたします。

1. 総出願件数

2018年のPCT出願の総出願件数は、暫定で253,000件と発表されました。これは前年(確定数値243,511件)との比較で、件数にして9,489件、率にして約3.9%の増加となりました。

2. 上位出願国(出願人居住国/15ヶ国)

順位	国名	2018年	前年比(%)	全体占有率
1	米国	56,142	-0.94%	22.19%
2	中国	53,345	+9.08%	21.08%
3	日本	49,702	+3.11%	19.65%
4	ドイツ	19,883	+4.92%	7.86%
5	韓国	17,014	+8.02%	6.72%
6	フランス	7,914	-1.25%	3.13%
7	イギリス	5,641	+1.31%	2.23%
8	スイス	4,568	+1.78%	1.81%
9	スウェーデン	4,162	+4.70%	1.65%
10	オランダ	4,138	-6.59%	1.64%
11	イタリア	3,337	+3.47%	1.32%
12	カナダ	2,422	+0.92%	0.96%
13	インド	2,013	+27.16%	0.80%
14	イスラエル	1,899	+4.57%	0.75%
15	フィンランド	1,836	+14.68%	0.73%
-	その他	18,984	+7.30%	7.48%
	合計	253,000	+3.90%	100.00%



2018年の出願上位15ヶ国は上記のとおりです。3年ぶりにフィンランドが登場し、その代わりにオーストラリアがランク外となりましたが、それ以外は同じ顔ぶれです。

特筆事項は、アジア諸国の占有率が全体の半分以上(50.5%)となったことです。WIPO 事務局長 Francis Gurry は、「経済的に躍動しているアジアにとって重要な節目で、西洋から東洋へ発明活動の歴史的・地理的な推移を裏付けている」とコメントしています。中国の増加件数は前年比4,463件で2018年統計の中で最大です。WIPOは昨年にコメントした内容(「中国が3年以内に米国をかわしてPCT出願件数トップになる」)を踏襲し、今年は「2年以内にトップになる」と予測しています。このほかに、インドも増加率としては27.16%と大きな伸びを示しています。ただ、今回の中国の件数増加率は2002年以来最低の数値でもあり、中国の経済成長率が下降気味になっていることの影響を受けているようにも思われます。アジアの占有率が全体の半分以上となったことは中国の件数増加に大きく依存しているため、今後も中国の出願件数に注目してまいります。

3. 上位出願人

順位	出願人名	国名	2018年	前年比(件)
1	Huawei Technologies Co. Ltd	中国	5,405	+1,381
2	三菱電機株式会社	日本	2,812	+291
3	Intel Corporation	米国	2,499	-138
4	Qualcomm Incorporated	米国	2,404	+241
5	ZTE Corporation	中国	2,080	-885
6	Samsung Electronics Co., Ltd	韓国	1,997	+240
7	BOE Technology Group Co., Ltd	中国	1,813	-5
8	LG Electronics Inc.	韓国	1,697	-248
9	Telefonaktiebolaget LM Ericsson (Publ)	スウェーデン	1,645	+81
10	Robert Bosch Corporation	ドイツ	1,524	+170

2018年国際公開件数に基づく出願人別出願件数は、例年に倣いデジタル、コンピュータ技術分野が多数出願されていることをそのまま反映しています。Huaweiが他を寄せ付けない勢いであるのに対し、同じ中国のZTEは2年前から大幅減少が続いています。

以上